

# 注腸X線検査をお受けになる方へ

注腸エックス線検査とは...

空気とバリウムを腸に入れ、検査台の上で体を動かすことにより腸の粘膜にバリウムを付着させ、粘膜の異常を見つける検査です。

検査時間は20分程度です。

## 【 検査を受ける前にご質問です 】

下記の項目で、現在治療中もしくは過去に治療歴があったり診断されたものがありますか？  
当てはまるものがある場合は、該当する項目に○印をつけて受付時にお渡しいただくか、  
検査前に必ずお申し出下さい。また、分からないことがございましたら遠慮なくお尋ね下さい。

- ・ 心臓病 ・ 前立腺肥大症 ・ 緑内障 ・ 糖尿病 ・ 妊娠の可能性がある
- ・ バリウム製剤による過敏症(アレルギー症状) ・ 該当無し

## 検査当日の流れ

お間違いなく!患者さんには2回ご来院いただきます。

**1回目 下剤をお渡しする日です。**

紹介状・健康保険証・当院診察券(お持ちの方)を持参のうえ、  
**検査予約日の3日前までに、**  
**日本鋼管病院外来棟1階 地域連携室**にお越し下さい。

- ◇ 大腸の中に便が残っていると、正確な検査・診断が出来ません。  
腸を空にして正確な検査するために検査3日前から下剤を飲んでいただきます。



**2回目 注腸検査を行う日です。**

**検査予約時間の15分前までに、**  
**日本鋼管病院 外来棟1階 地域連携室**にお越し下さい。

## 検査にあたって

- ◇ 検査着に着替えていただきます。
- ◇ 腸の運動を抑えるための注射をします。
- ◇ 検査予定時間は検査の都合上、多少前後する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◇ 検査結果は後日、ご紹介いただいた病院の担当医師からお聞き下さい。
- ◇ 都合により遅れる場合・ご来院できなくなった場合や、ご不明の点は下記までご連絡願います。  
ご連絡の無い場合は、検査開始時間が遅れることがございますので、予めご了承ください。

## 検査後の注意

- ◇ 検査終了後、トイレに行き注入したバリウムと空気を排泄していただきます。  
その際に排泄できなくても、通常数時間後には排泄されます。
- ◇ 検査翌日になってもバリウム便が排泄されない場合には、必ず当院(下記:救急外来)にご連絡下さい。
- ◇ バリウムの排泄を促すため、検査後は水分を多めに摂って下さい。
- ◇ 便秘・便秘気味の方は下剤を追加しますので、検査担当者または看護師にお申し出下さい。
- ◇ 検査時に使用する注射の影響が出ることがあります。  
場合により「目がチラチラする」・「物が二重に見える」・「のどが渇く」・「フラフラする」といった症状が出ることがありますが、じき治まります。  
しかし、上記の症状が完全に治まるまで車等乗り物の運転はしないで下さい。  
また、歩行にも十分注意して下さい。車・オートバイ・自転車等での来院は極力お控え下さい。
- ◇ 検査後はお腹が張った状態になります。食事は1～2時間後(お腹が楽になってから)にゆっくり時間をかけてお摂り下さい。
- ◇ 検査後に下記の症状が出現したら、必ず当院(下記:救急外来)にご連絡下さい。
  - 腹痛 ● 出血 ● じんましん ● 気分不快 ● 顔面蒼白
  - 手足が冷たくなる ● のどが詰まる ● 息苦しい・息がしにくい

～ 検査に間に合わない場合や、その他のお問い合わせのご連絡は ～

**地域連携室** ファイナル **0120-961-778** (平日 9:00～17:00・土曜 9:00～14:00)

携帯電話からは TEL 044-366-1077

**救急外来** TEL **044-333-5591** (その他の時間帯)